

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 将としてカギになるのは「オーナーシップ」 古森 重隆 (富士フィルムホールディングス会長)

1. 将として、1 つのカギになるのは「オーナーシップ」だと思います。いかなる時も会社や組織の問題を我が事として考えることができるか。それをバネとして創意工夫し、難問を解決し、自分を鍛えていくことができるか。それが、リーダーとしての成長スピードの大きな差を与える。私は 20 代の頃はそういう社員ではありませんでした。会社員として一生働いていくかどうか、覚悟が決まっていなかったからです。ただ、いくつかの出来事を通じて、会社に対するオーナーシップが芽生えました。
2. 1 つは、入社 3 年目に「フジタック」というフィルムベースを扱う部署の営業に異動になったことです。ところが、昭和 40 年不況の際に、この事業の撤退話が浮上しました。この時、私は神に試されていると感じ「何とか売り上げを伸ばすので待ってくれ」と上司に訴えました。そこで踏ん張らないと、この事業はなくなってしまう。この事業を残せなければ、私は会社にとって役に立つ人間でないということだ。いわば、富士フィルムにおける私の試金石だと思いました。
3. さらに、6 年目のある新任課長との出会いが転機になりました。彼は、あるグループのリーダーに抜擢してくれました。会社が私に責任を与えるのであれば、会社に報いよう、会社のために全力で生きよう。この時、ようやく会社に対する強い忠誠心が芽生え、オーナーシップに目覚めました。

(参考:「日経ビジネス」2013 年 3 月 25 日号)

## 経営者のための経済学

### 円安はどうして起きたか

1. 為替市場は実際には昨年 10 月ごろから既に円安に転じていた。安倍政権の金融政策は「きっかけ」をつくってだけで、実はその前から円安への転換の準備は整っていた、との見方が主流だ。円安の要因は実際には①日本が脱デフレ、物価上昇②欧州債務危機が一段落③米国が景気回復、先行き金利上昇の期待④日本の貿易収支が赤字化、経常収支黒字が縮小、海外への直接投資が拡大、の複合と思われる。これらにより「安全資産」と見なされていた日本円に一方的に資金が流入するという局面は終わった。
2. 特に今後、カギを握るのは米国だ。米国の景気回復が進んで、金利の上昇(量的緩和の終了)が予測されるようになれば、円安への流れは確実なものになる。一方で、欧州危機が再燃したり、米国の景気回復が腰折れしたりすると、円高に逆戻りしてアベノミクス自体を頓挫させる恐れもある。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2013 年 4 月 6 日号)

## 海外事情

### 大西洋の世紀到来

#### アン・マリー・スローター (プリンストン大学教授)

1. 米国は上昇気流に乗り、欧州は安定化し、そして両者は連携を強めている。米国は 2030 年までにエネルギー需要のすべてを南米大陸からの輸入で賄えるようになるかと予測されている。米国は 2020 年までに石油と天然ガスの輸出国になる可能性が高い。米国は現在、世界最大のエネルギー輸入国だが、今とは正反対の状況が生まれることになる。
2. 欧州にも薄日が差してきている。バイデン副大統領は、「欧州は今も将来も、米国にとって一番頼りになる絶対不可欠なパートナーだ。そして、米国は今も将来も、欧州にとって絶対不可欠なパートナーだと確信している」。このような強い言葉は米国の新たな感性を反映している。欧州と米国を合計すると、世界の GDP の 5 割を上回る。大西洋の世紀も夢ではないということだ。

(参考:「週刊東洋経済」2013 年 3 月 16 日号)

## 古典に学ぶ

### 道を体する

(解説) 一面的なものの見方を捨て去って、道から離れずにいるだろうか。自然の気を保って柔弱なること、赤子<sup>あかこ</sup>のようであるだろうか。知識を万能とする迷いをぬぐい去るに、欠けるところはないだろうか。人民を愛し、国を治めるについて、無為を守っているだろうか。自然の変化のなかにあって、受身の立場に徹しているだろうか。「道」は万物を生み、万物を養う。万物を現象させながらもその現象を固定させず、存在させながらも功を誇らず、完成させながらも支配しない。これが「道」の底知れぬ徳である。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)